

市場化テスト

和歌山県

人口：1,061,559 人

面積：4,726.08 km²

取組の概要

民間活力の活用の一つとして、市場化テストに取り組むこととし、平成 18 年度にモデル事業として和歌山県庁南別館の管理運營業務において官民競争入札を実施し、平成 19 年 1 月から業務を委託している。

取組の紹介

1 取組の背景

- 平成 18 年 3 月策定の本県集中改革プランである「行財政改革推進プラン」において民間活力の活用の一つとして、市場化テストへの積極的取り組みを盛り込み、平成 18 年度に施設管理においてモデル実施することを記載した。

2 取組の具体的内容

○ 対象事業

和歌山県庁南別館 管理運營業務 [新設]

建築物 地上 10 階建 延床面積 約 12,000 m² 敷地面積 1,800 m²

入居機関 防災センター、県土整備部、教育委員会等 (約 780 名)

実施期間 平成 19 年 1 月 4 日～平成 21 年 3 月 31 日

○ モデル事業の主なスケジュール

18 年 8 月 28 日 評価委員会の設置・実施要項 (案) の審議

9 月 12 日 実施要項公告 (県報掲載)

9 月 12 日～9 月 26 日 資格審査申請書類の配布

9 月 12 日～10 月 6 日 資格審査申請書類の受付

9 月 28 日 入札に関する説明会を開催 (約 20 社が参加)

10 月 30 日 入札書及び事業計画書提出 (4 社が入札、県管財課計画書等提出)

11 月 20 日 提出された事業計画書による評価委員会及び開札

12 月 22 日 委託契約

19 年 1 月 4 日 管理運營業務開始

○ 評価項目及び配点（抜粋）

- (1) 業務要求水準に対する評価項目及び配点（技術点のうち基礎点） 200点
 施設の統括管理、清掃及び環境衛生に係る管理運営、建築物、電気設備等に関する管理運営、警備の管理運営
- (2) 県が特に重視する評価項目及び配点（技術点のうち加算点） 300点
 事業実施に係る管理運営体制に関する提案、業務コスト及び光熱水費削減のための工夫、情報の機密保持・トラブル防止等に関する提案、災害及び緊急時の対応に関する提案、迅速かつ正確な受託業務報告に関する提案、事業終了時の確認に関する提案
- (3) 価格点及び配点 500点

○ 入札結果

（単位：円）

	見積額(税込)	基礎点	加算点	価格点	総合評価点	備考
落札者決定基準となる管財課の総合評価点	186,715,652	200	180.0	2.0	382.0	

入札者名	見積額(税込)	基礎点	加算点	価格点	総合評価点	備考
K 社	125,000,000	200	209.2	149.9	559.1	落札
A 社	144,000,000	200	192.4	96.7	489.1	入札保証金不足のため失格
B 社	171,386,000	200	163.6	20.0	383.6	
C 社	142,000,000	200	227.0	102.3	529.3	

3 取組の効果

- コスト削減とサービスの質の向上を目指す。
 予定価格 187,454,425 円（消費税及び地方消費税の額を含む）
 落札決定額 131,250,000 円（同上）

4 取組中の課題・問題点

- 先進事例が無い中での、円滑な諸手続の執行のための法令調査や様式の作成、対象業務コストの把握等が課題であった。
- 入札方法に、総合評価方式を取り入れることにより、県の組織である管財課と民間業者との創意工夫を競わせ、官民競争のモデル事業とした。
- 落札決定に重要な影響を及ぼす評価基準について、評価委員会の委員に積極的に参加していただき、入札担当課である行政経営改革室で作成することにより、官側における情報遮断を図るとともに、予定価格の公表など情報の開示にも努めたところである。

- ・ 今後、官民競争入札を展開していくにあたっては、入札担当者の具体的事務について、官側の情報遮断のあり方等、官と民との公平な入札の担保について、さらに検討を加える必要がある。

5 今後の課題

- ・ 県庁内の取組体制と対象とする事業調査が課題であり、民間開放すべき事業の抽出に向けて、調査・検討中である。

6 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 本格実施にあたっては、当該事業の市場化テスト実施に伴う影響等について、綿密に調査・検討しておくことが重要と思われる。

(参考) 当該取組内容の関連ホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011700/sijouka/sijoukatop.html>

担当部署：行政経営改革室